

第9章 情報公開・説明責任

9-1 広報部

達成目標（1）

ステークホルダーから見て、情報を公開するだけでなく、その情報の見方についても解説されている分かりやすい情報を公開する。

行動目標

財務三表の各項目についての解説を掲載する。

現状説明

- ・東海大学 Web の財務情報・事業報告において、2009 年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表を掲載するとともに、合わせて決算の概要を掲示している。
- ・2004 年度以降の財務報告書を合わせて掲載している。

点検・評価

<行動目標の実現度> A

東海大学 Web 上の公表は、概ね予定通り進められており、実現度は A である。

<改善すべき事項>

特になし。

今後の改善・改革に向けた方策

<長所の維持・伸長方法>

情報公開・説明責任に関する行動目標として、学費納入者である保護者、学生を主としたステークホルダーに対する財務情報の公表を目標として進めてきたが、昨年（2010 年 6 月 15 日）の学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、公的な教育機関として、学生、保護者、社会に公表が求められている事項について、高校生にも分かりやすい、確実な情報公開を行うことを、新たな目標として改める。さらに、教育力の向上の観点や、大学情報の海外発信の観点からの情報公開に向けての目標を加えた目標とする。

<改善方策>

特になし。

上記により実施するため、「特になし」。

達成目標（2）

学外（卒業生等のステークホルダー）からの意見を聴取（公聴）し、大学の改善に役立てるとともに、改善の状況を公開（広報）するためのWEBを活用したネットワークを構築する。

行動目標

「大学ネット」上で、公聴広報機能を運用開始。

現状説明

卒業生のためのWebネットワーク「東海大学ネット」内に、「感想・意見・リクエスト等はこちらから」と称して、卒業生が情報を送るためのメールアドレスを記載している。

点検・評価**<行動目標の実現度> C**

「東海大学ネット」内の「感想・意見・リクエスト等はこちらから」は、情報を発信していただくためのメールアドレスに留まっており、公聴広報機能は有していないので、実現度はCである。

<成果と認められる事項>

特になし。

<改善すべき事項>

特になし。

今後の改善・改革に向けた方策**<長所の維持・伸長方法>**

情報公開・説明責任に関する行動目標として、卒業生からの意見を聴取することを目標として進めてきたが、昨年（2010年6月15日）の学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、公的な教育機関として、学生、保護者、社会に公表が求められている事項について、卒業生を意識した上で、確実な情報公開を行うことを、新たな目標として改める。さらに、教育力の向上の観点や、大学情報の海外発信の観点からの情報公開に向けての目標を加えた目標とする。

上記により実施するため、「特になし」。

<改善方策>

特になし。

9-2 学長室

達成目標

学外（卒業生等のステークホルダー）からの意見を聴取し、大学の改善に役立てるためのwebを活用したネットワークを構築する。

行動目標

Webを活用したネットワークを構築する。

2010年度目標：Web構築に向けたネットワークの素案作成。

現状説明

卒業生が社会に出てからの振り返りは、教育の質の保証を具体化するためのプログラム作りにおいて重要な要素であり、文学部などいくつかの学部では、郵便などを利用した意見聴取が行われているものの、全学的な取り組み、特にWebを利用した取り組みについては、具体化のための準備が遅れているのが現状である。

点検・評価**<行動目標の実現度> C**

卒業生を対象とした東海ネットの改修素案はあるものの、具体的検討までには至らなかった。

<成果と認められる事項>

特になし。

<改善すべき事項>

情報公開、説明責任に関する検討課題が多く、卒業生への情報公表の内容まで議論する余裕がなく、公聴内容の検討まで行きつかなかった。

今後の改善・改革に向けた方策**<改善方策>**

1年遅れとなるが、システム部門との検討を行い、Webの機能強化に向けた検討を行う。

9-3 事務部

達成目標（1）

ステークホルダーから見て、情報を公開するだけでなく、その情報の見方についても解説されている分かりやすい情報を公開する。

行動目標

〔事務部総括〕

大学から情報を発信する際には、提供対象者にとって理解しやすいものとなるように工夫を心がける。

（a）〔校友課〕

同窓会情報・学園の現況等、常に最新の情報を公開する。

（b）〔伊勢原経営企画室〕

受験生向け情報提供は、オフィシャル・HPに掲載。伊勢原キャンパスHPで、それ以外の研究者等ステークホルダー及び学内教職員・在学生向けの情報を提供する。例；公開講座情報、医学部年報検索ファイル(5ヶ年)、各種フォーマット・ダウンロードページ、伊勢原キャンパス・写真カット集等を新設予定。

現状説明

〔事務部総括〕の具体的取り組み

校友課において同窓生を対象に、医学部において受験生を対象として、下記の取り組みを行った。

行動目標（a）具体的取り組み

同窓会ホームページ上に「同窓会新着情報」を設け、行事のお知らせ・報告を迅速に掲載し、古い情報が掲載されないような仕組みを設けた。同窓会支部総会等、各校友会会合で学園現況を報告する内容は常に最新のものを用意し平易な表現となるよう工夫した。また、同窓会ホームカミングデーの開催情報（行事等のお知らせ）を特設ページで告知した。

行動目標（b）具体的取り組み

今年度は計画的な定期更新を実施することにより、情報公開を的確に、スピーディーに行うことができた。また、提供対象者が情報を入手しやすいようにサイトのタイトルや内容についても理解しやすいように工夫した。

点検・評価

<〔事務部総括〕の実現度> B

校友課および医学部においては相応の成果をあげることができたが、大学全体としては頭書の目的を達成するには至っていない。

<行動目標（a）の実現度> A

同窓会及び、学園校友会ホームページには新しい情報を迅速に掲載することが出来た。今後内容の充実を図る。後援会ホームページの年度ごとの情報更新が遅くなっており、次年度に向けて改善する。（同窓会・学園校友会ホームページと同様の仕組みを取り入れる）

＜行動目標（b）の実現度＞A

年報の検索ファイル、各種フォーマット・ダウンロードページ、デジタルパンフレット等を掲載した他、受験生・在學生・教職員・卒業生等提供対象者向けのページも新設するなど、ホームページの内容を充実させた。

＜成果と認められる事項＞

（a）情報を更新する仕組みは出来ている。

＜改善すべき事項＞

（a）同窓会員に関して得ている情報が不十分である。

今後の改善・改革に向けた方策

＜長所の維持・伸長方法＞

（b）様々な情報を様々な利用者に向けて公開することができており、さらに利用者が利用しやすいホームページとなるよう、ホームページ内検索等の機能について検討する。

＜改善方策＞

（a）校友会としてより多くの情報を収集し、公開するための方法を構築する。後援会ホームページの役員情報、総会の日程・会場の情報、地区別会員数、総会等の報告を遅滞なく公開できるように、情報の受け渡しのスケジュールを作り、それに従って更新を行う。

達成目標（2）

学外（卒業生等のステークホルダー）からの意見を聴取し、大学の改善に役立てるためのwebを活用したネットワークを構築する。

行動目標

〔事務部総括〕

大学ホームページ、東海大学ネット、付属高校生等、既存のネットワークを積極的に活用し、大学の方向性に関する意見を幅広く求めて行く。

（a）〔校友課〕

東海ネット再生・充実を図り、対前年度比＋5%の加入・参加者増を目指す。

（b）〔伊勢原経営企画室〕

伊勢原キャンパス医学部HPに通信欄（ご意見や提案等）を設け、改善に役立てていく。

※伊勢原キャンパスHPは、2007年に健康科学部、2008年に医学研究科、2009年に医学部と順次計画に基づき、リニューアルを進め、トップページ等分かり易いデザインを検討、学外一般向けにアピールでき、詳細で新鮮な情報を提供し、学内向けにも使いやすく便利なサイトとすることを指針とし、年次ごとに内容の充実を図る。

現状説明

〔事務部総括〕の具体的取り組み

校友課において同窓生を対象に、医学部において受験生・在学生、教職員を対象として、下記の取り組みを行った。

行動目標（a）の具体的取り組み

同窓会会報（8月に住所判明者に送付）に東海大学ネットの告知を設け、登録を促進した。登録代行で初期設定の支援も行った。在学中に生涯メールアドレスを取得できる仕組みを設けた。統合東海大学の旧九州・北海道東海大学、短期大学部高輪の卒業生に対し、登録を可能にするための検討を行った。東海大学ネットの告知用パンフレットを改定（増刷）した。学園Eメールマガジン（T-Cross）等の媒体で、登録のお願いを掲載した。

行動目標（b）の具体的取り組み

現在までに、ホームページ内に詳細な問い合わせ先・資料請求の欄を設け、願書等資料の完成時期も掲載した。また、トップページから受験生・在学生・教職員等利用者がリンク先に進みやすいよう、表示の工夫を行った。

点検・評価

＜〔事務部総括〕の実現度＞B

校友課および医学部においては相応の成果をあげることができたが、大学全体としては頭書の目的を達成するには至っていない。

＜行動目標（a）の実現度＞B

現在、生涯メール取得者の数は9,543名（前年5月比540名増）、うち転送先を設定している方は9,044名（前年5月比212名増）である。現在、東海大学ネットの検討委員会が解散しており、将来的なサービス向上の為の検討が中断している。卒業生の満足度の高いサービスを実現する。

＜行動目標（b）の実現度＞B

現在は電話や実際に窓口へ来室した方への対応を行っており、問い合わせに対応できている。今後、さらなるご意見や提案の対応にむけて、どのようにすれば利用者がより利用しやすいホームページとなるか、検討を進める。

＜成果と認められる事項＞

特になし。

＜改善すべき事項＞

特になし。

今後の改善・改革に向けた方策

＜長所の維持・伸長方法＞

特になし。

＜改善方策＞

（a）三大学統合による、旧二大学、短期大学部高輪の出身者に対するサービスを、早急に開始する。（専攻 ID の割り当てなど、技術的な問題）。その上で、使い勝手と安全性の両立するサービスを実現する。

（b）学内外からさらに利用しやすいホームページとなるよう、会議やホームページ内などで意見・改善案を募り、また在学生・受験生には説明会で意見を聞くなど、積極的に行動する必要がある。